

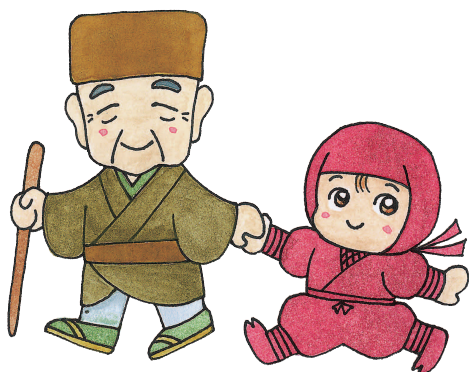


# 伊賀 市議会だより

No. 10  
平成19年8月1日



## 笑顔がいっぱい



### ひとが輝く 地域が輝く ～住みよさが実感できる自立と共生のまち～

#### 目次

- 議会報告会・・・・・・・・・・・・・・・・P 2
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・P 3～P 7
- 常任委員会付託案件審査・・・・・・・・P 8
- 6月定例会の審議結果・・・・・・・・P 9
- 政務調査費の支出報告・・・・・・・・P10

# 議会報告会を開催しました

伊賀市議会は、今年2月に伊賀市議会基本条例を制定しました。  
 この条例は、伊賀市自治基本条例の理念及び第5章で規定されている「議会の役割と責務」を具現化したものです。  
 議員は、市民全体の代表であり市民への情報提供、説明責任があることから、議員及び市民が自由に情報及び意見が交換できるよう「議会報告会」の開催を議会基本条例第7条に明文化し、義務化することになりました。  
 7月は下記の地区で報告会を開催しました。

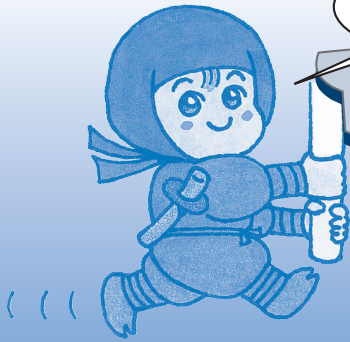
地区名	開催日時	場 所	地区名	開催日時	場 所
矢 持	7月11日(水) 19:00~	矢持地区市民センター	諏 訪	7月18日(水) 19:30~	諏訪地区市民センター
上野東部	7月12日(木) 15:00~	上野東部地区市民センター	上野西部	7月20日(金) 19:00~	上野西部地区市民センター
長 田	7月12日(木) 19:00~	長田地区市民センター	玉 瀧	7月21日(土) 19:00~	玉瀧・内保高齢者活動センター
高 尾	7月15日(日) 19:00~	岳の里会館	阿 波	7月25日(水) 19:30~	大山田東生活改善センター
島ヶ原	7月17日(火) 19:30~	島ヶ原会館ふれあいホール	壬 生 野	7月26日(木) 19:30~	川東多目的集会所
三 田	7月18日(水) 10:00~	三田地区市民センター	西 柘 植	7月27日(金) 19:00~	西柘植公民館
府 中	7月18日(水) 19:00~	府中地区市民センター	中 瀬	7月28日(土) 19:30~	中瀬地区市民センター



## 10月・1月の予定

班	議 員 名 (◎班長)	地区名		班	議 員 名 (◎班長)	地区名	
		10月	1月			10月	1月
1	◎岩田佐俊 田山宏弥 前田孝也	小田	比自岐	4	◎葛原香積 木津直樹 森本 聡	友生	花垣
	桃井隆子 宮崎由隆 森野廣榮	山田	上津		勝矢節義 中岡久徳 安本美栄子	柘植	阿保
2	◎松村頼清 本城善昭 大西保定	上野南部	依那古	5	◎今井博昭 空森栄幸 坂井 悟	久米	神戸
	恒岡弘二 森岡昭二 前川款昭	博要	鞆田		英 成樹 山岡耕道	丸柱	布引
3	◎森永勝二 北出忠良 森 正敏	新居	ゆめが丘	6	◎今井由輝 渡久山カネエ 中本徳子	花之木	まじが台
	奥 邦雄 土井裕子 本村幸四郎	猪田	河合		馬場登代光 小丸勅司	桐ヶ丘	古山

市政に対する



# 一般質問

去る、6月に開催されました第6回伊賀市議会(定例会)では、一般質問が6月12日から4日間行われ、18名の議員により市の諸問題についての質問を行いました。

## 質問を行った議員

森本 聡	坂井 悟	渡久山カネエ	松村 頼清	森永 勝二	中本 徳子	森岡 昭二
葛原 香積	勝矢 節義	桃井 隆子	北出 忠良	宮崎 由隆	小丸 勅司	英 成樹
本村幸四郎	恒岡 弘二	森野 廣榮	森 正敏			

## 住民自治協議会の位置づけが不明確ではないか

(森本 聡議員)

**Q** 伊賀市自治基本条例により設置された住民自治協議会と、行政委嘱による自治会長、区長との位置づけが不明確で、現地では多くの混乱と不満が渦巻いている。自治協議会と区長とは、一体となって活動することが条例の精神であると思う。

また、自治協議会に対する財政支援としての、設立交付金打ち切り後の地域活動支援事業補助金制度は、現在の自治協議会のニーズを満たすものではないと思うがどうか。

## 車の両輪と認識しています

**A** 住民自治協議会と自治会長、区長とは車の両輪と認識しています。財政支援について、設立交付金は当初計画どおり打ち切り、それに代わるものではありませんが、地域活動支援事業補助金制度を設けました。地域交付金については、19年度中に17年度、18年度の事業実績を評価し、必要と判断すれば20年度予算で配慮したいと思えます。



## コミュニティバス、行政バスの料金の値上げについて

(坂井 悟議員)

**Q** 先般の地域公共交通会議の中で、料金の改定、値上げを考えられているようであるが、市政の一体化をうたわれている中で、なぜ青山地域だけ料金が距離換算になるのか。また、料金の値上げについては、どれだけ生活者の視点にたって考えているのか疑問である。

寄付金等収入の努力により、料金を上げない方向で検討すべきであるがいかがか。

## 運賃は対キロ制を導入したい

**A** 運賃の値上げですが、今回一律200円という案を持っています。住民アンケート



▲青山行政バス

100円前後という回答が多かったことも一つの理由です。12月1日に実施できるよう運賃改定の手続きを進めております。

また、現在島ヶ原線、諏訪線、西山線は三重交通の廃止代替バス路線で市が一定の補助をすることで維持する形をとっており、運賃は対キロ制を導入していますが、青山についてはこれらと同様の取り扱いとなります。ただし、激変

緩和を考慮し、運賃は2年程度500円を上限とした対キロ制とし、その後は全て対キロ運賃と致したいので、ご理解を賜りたいと思います。

## 学校へのAEDの設置は

(渡久山カナエ議員)

**Q** 現在、伊賀市でのAEDの設置は15台です。の中には学校への設置はありません。学校は児童・生徒・教職員はもちろんですが、体育館やグラウンドなどは夜間や休日に開放されていますし、また災害などが起きた場合には「避難所」に指定されているので、地域住民の救命にも役立ちます。今年度の予算には入っていないので、優先順位を決め、年次計画に基づき設置をすべきではないか。

## 年次の設置をしていきたい

**A** AEDで命の助かった人が多くおられます。また普及率が上がっているので価格は下がってきています。リース契約により、年次的に設置をしていきたいと考えています。



▲市民生活課の前に設置されたAED

## 伊賀地域の医療体制は

(松村頼清議員)

**Q** 今後の伊賀の医療についてですが、救急受け入れ体制がギリギリだということも現状です。また、今後ますます医師不足というのが深刻化すると予想されます。この伊賀地域に医師を確保しようとしたら何が必要でしょうか。

### 地域に応じた対応が必要

**A** 医師不足は伊賀市だけではございません。全国的な展望に立って地域に応じた対応が必要で、現実的には難しいが、将来的には伊賀に総合病院は一つで良いと思っております。院長としては医師を集められる病院など、伊賀地域の医療を抜本的に変える必要があると思っております。



## 医療費の助成 就学前まで拡大しては

(森永勝二議員)

**Q** 子どもの医療費を、通院も、就学前まで無料にしてはどうか。伊賀市が実施する場合の予算はどのくらいですか。

また、病院窓口での無料化ですが、県は非常に消極的です。県に対して声を上げるべきではありませんか。全国30の都道府県が行っています。なぜ、実施できないのですか。

### 県が実施までガマンを

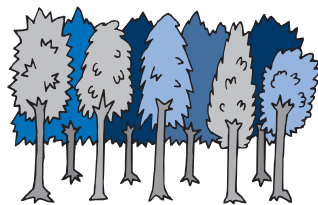
**A** 現在、入院は就学前までやっております。通院については、県も拡大の検討をしているようで、足並みを揃えていくことが必要です。また、実施するためには約三千四百万円が必要です。病院窓口での無料化については、県に一度尋ねてみます。実施するためには医療機関の同意とか医療費の増につながります。また、国民健康保険の調整交付金が減額されることとなります。



## 間伐の推進を更に進めるために

(中本徳子議員)

**Q** 緊急間伐推進事業が5カ年を経過し、6年目に入っています。過去5カ年間に年平均1000人を超す見込がある間伐本数は22万2000本を超え、面積にして816haに及び、補助金額は4260万円となり、戸当たり8万5000円となつていきます。こうした間伐が5カ年で20万本は、地球温暖化防止に寄与し、災害防止の一助にもなる事で大変喜ばしい限りでありますので、更に推進を図って行かなければなりません。単価が年々下がってきている点をどう考えておられるのか伺います。



### 間伐は大切な事で、今後とも支援をしていきたい

**A** 森林の形成上大切な作業ですので今後とも一層の支援をしていきたいと思えます。単価については、県の標準世帯単価を基準として決定していますが、今後は森林環境税も県の方へ要望し、森林を守っていく対策をとっていきたいと思っております。

## おいしい給食を

(森岡昭二議員)

**Q** いがっこ給食センター夢による中学校給食について、子ども達から「味がまずいので何とかしてほしい」との声があるのですが改善策は。

### より安心で安全な給食を提供

**A** 市民の方々から4月当初参声広場を通じて、味付けや温度等について指摘をいただきました。その都度学校を訪問し、状況を把握して、委託業者と協議を進め改善に努めてきました。配食される10中学校の4月・5月分の検査簿のデータを見ると、10中学校中6校においては、味付け等の検査項目すべてにおいて良好という記録でありました。

4月当初については、調理にあたる職員も調理施設に不慣れなこともあり、味付け等についても十分な点があり、ご心配をおかけしました。今後ともより安心で安全な給食を提供できるよう取り組んでいきます。



## 校区再編と島ヶ原小学校の存続の考えは

(勝矢節義議員)

**Q** 島ヶ原小中学校は、合併を先取りした学校ではない。耐震度調査の結果、老朽化により建設した学校である。建設にあたっては、これからの学校はどうあるべきか、子ども達が一日の多くを学校で過ごす、生活空間の場としての学校、生涯学習の場として老人達が利用することで、子ども達にとつては安全で安心な学校として地域の人々の願いとしての学校である。旧郡部にあつては島ヶ原小中学校は一校となる。一学年一学級の小規模校として存続は可能かどうか。

### 一学年一学級の特徴ある学校として教育効果を挙げていくべき

**A** 合併を先取りした学校でないことはよく理解しております。今は県下でも例の少ない小中一貫校として、その効果を挙げている学校であります。その取り組みの成果を出していきたいと思ひます。一学年一学級の学校で存続し得るかどうかですが、10年から15年先では見直しもあると思ひますが、特色ある学校として教育効果を挙げていける学校であると思ひます。



▲島ヶ原小・中学校



▲伊賀市立上野総合市民病院

## 伊賀地域の医療体制について

(桃井隆子議員)

**Q** 伊賀地域の医療体制を見据えた中で、『伊賀市立上野総合市民病院のあり方検討委員会』が設置され、伊賀地域の医療体制について外部の委員さんも入れて検討され、本年秋頃には最終的な結果を出されると思ひますが、その内容についてご説明を願ひます。

### 三総合病院の台意形成が必要である

**A** 昨年12月に市民病院の現状把握・伊賀地域の医療の現状について話し合いました。今後、診療圏の分析、院内データの分析等を専門の方とともに分析して、伊賀市として一定の検討を行つてまいります。本年度内に一定の方向性を考えて行きたいと思ひます。

## イベント時の駐車場は

(北出忠良議員)

**Q** イベント時における学校のグラウンドを全面的に駐車場として使用するのには、観光を標榜する伊賀市として、学校・教育として問題があるのではないかと尋ねます。

### おもてなしの心で

### 観光振興に使用したい

**A** 施設開放については、規則により学校が適切と判断すれば使用出来る事になっていきます。伊賀市の観光振興のために使用するのでご理解願ひたいと思ひます。また、子どもの遊びや運動に関しては、市の催し物やイベントに参加していただきまますようご協力をお願いしております。

私も当時、教員として納得できない旨を校長に申し上げた事もあります。しかし、望ましい事ではないが、多くの観光客が来られて駐車場を探すという事は、私市民として堪えられないし、お気の毒でもあります。理屈として使う事に抵抗があるが、やはりおもてなしの心と原理原則と天秤にかけた場合、おもてなしの心を出していけばいいのではないかと思ひます。



## 焼却施設と分別とゴミ袋有料について

(宮崎由隆議員)

**Q** 伊賀南部環境衛生組合が流動床式ガス化熔融炉施設及びリサイクル施設の建設にあたり、合併前から青山区から要望されてた屋内ゲートボール場は今後どのように進んでいくのですか。次に分別は伊賀地区で一体的に取り組んでいく考えはないのか。最後にゴミの有料化はそれぞれの自治体の条例で手数料として定められています。が、ゴミ袋においては青山区を除いて45リットルで20円・今名張市で80円で各地域で説明をされていると聞きます。青山区はどの様になるのかお聞きします。

### 青山区も伊賀市と同様20円を越えませぬ

**A** ゲートボール場の建設は伊賀市・名張市広域行政事務組合で審議し、議会にも諮り進めて行きます。分別は青山区を除く伊賀市では4種14分類、青山区は4種21分類で分別が市民の皆様で行われています。今後更に資源循環型社会の構築に向けて進めて行きます。ゴミ袋は青山区も伊賀市ですの20円を超える事はありません。



## 公的年金加入記録 (消えた年金記録)について

(小丸勅司議員)

**Q** 市民の不安を解消するために取るべき行政の責務とその原因、加入記録の保存状況を尋ねます。

**A** 国民年金は、市町村の納税制度により順調に徴収されてきました。平成14年から基礎年金番号制度導入により、社会保険庁に一元化されました。その結果、湯水のごとく金を使える社会保険庁の良くない体質が最大の原因であると考えられます。今後、社保庁としては35歳を迎える方、及び19年12月から45歳、55歳から59歳までの方を対象に、年金加入状況が分かる「年金定期便」を送付するとの事でございます。その後、すべての被保険者に送付する計画もございます。島ヶ原地区の手書き記録が消却されていますが、総務省の第三者機関により確実に救済をされると聞いております。



## 防災体制について

(英 成樹議員)

**Q** 地域防災計画によりますと、地震対策、風水害対策などについての対策が詳細に示されています。先の地震に際しては、防災計画に沿った警戒体制ではなく準警戒体制でありました。ところが、その後の大雨洪水警報が発令された時には、大雨とはならなかったが、防災計画で示された警戒体制が取られています。事前会議の判断対象となる発令について、機動的に効果的な運用ができるよう決めておく必要がありますが、どのように



▲伊賀市役所 (本庁)

### 実態にあった防災計画を見直す必要があります

**A** 確かに先の地震の際には警戒体制を敷かねばなりませんでしたが、準警戒体制であったことについては反省をしています。また伊賀地方に大雨洪水警報の発令時には、

## 期日前投票と 投票率アップについて

(本村幸四郎議員)

幸い大雨とはなりませんでしたが、防災計画に書かれている通り警戒体制を取らせていただきました。これは地域防災計画に書かれている通り実施いたしました。しかし、これからは実態にあったように防災計画を見直す必要があるのではないかと考えています。

**Q** 期日前投票は、本庁と青山支所で行われ不満の声が非常に多いですが、秋田市、男鹿市では大型店舗や駅などの郊外で実施されて、全体投票の33パーセントの投票がされているが、伊賀市でも大規模小売店舗等での実施は出来ないのですか。

**A** 法的には選挙管理委員会が決めれば出来ないことは無いと考えます。しかし、準備等に一千万円以上くらいはかかるのではないかと思います。今後、選挙管理委員会の検討課題といたします。



▲本庁に設置された期日前投票所

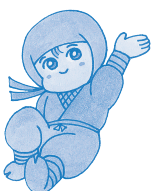
## 病院の耐震工事はいつか

(恒岡弘二議員)

**Q** 先の中部地震で強震を体験し、改めて多くのことを学び市民の災害意識が変わりました。今また東南海沖地震が極めて高い確率でやって来るといわれています。今回は直下型のため、横揺れがなく被害も極少なくて済みましたが、同じ震度でも海洋性の地震には特性があり、横揺れ20秒〜40秒続くと、甚大な被害になるとの専門家の発表です。今回の地震は命の危険を感じたという方が多い中、すぐ連想直結するのは病院です。医療機能が稼働できる第一の条件は、病院の館骨があつての救命行為であります。一日も早く災害に備えるべきですが、着工計画について尋ねます。

### 早期着工をいたします

**A** 早期着工をしたいと思えます。既に18年本館耐震診断の結果、121ヶ所、0.44の判定ができました。病院という用途から0.9に補強改修をします。患者さんに配慮しながらの工事のため2カ年を要します。流れですが19年度基本設計に入り、耐震判定会審査を行い、実施設計をします。着工、完成は21年度を目途としています。



## 大滝バイオマスタウン

### 事業計画

(森野廣榮議員)

**Q** 農林省より公表された大滝バイオマスタウン事業計画において、リサイクルする施設や紙や木等のバイオマスの他プラスチック類等の可燃物(90トン/日量)を焼却発電する施設が含まれています。三重県産業廃棄物処理要綱では800m以内の居住者の5分の4の同意が必要であります。近隣地区との協議について、また構想書を提出するにあたり地域住民、関係団体、地域産業等の意見を配慮されたのか尋ねます。

### 近隣地区の台意がなければ変更もあります

**A** 大滝自治会が企業誘致をされ、バイオマスを通して地域活性化を考えた事業計画で許可はまだだされていません。大滝地区は合意形成をされておりますが近隣地区については現在説明会をしており、その中で合意が得られなければ変更もあります。



## 新清掃工場の建設について

### 建設について

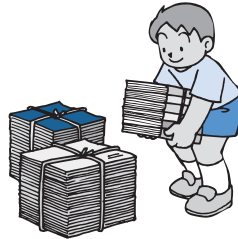
(森 正敏議員)

**Q** 清掃工場の建設が始まりましたが、来年7月からの稼動は予定通り進んでいるのか。ゴミの搬入ルートはどうなっているのか。また、名張市のゴミ有料化に対し、自治会青山支部の5名の区長から連名で申し入れがあったが、どのように対処するのですか。

### 地域の方々の思いを真摯に受け止めたい

### 稼動について

**A** 稼動について、報告では7月からできると思われる聞いています。搬入ルートにつきましては、4ルートあり、名張からは165号線から19年度完成の道路を経て進入するコースがメインで、伊勢路の工業団地からのルートもあります。あと2路線は完成が遅れています。22年度には活用したいと思えます。また、申し入れ書には青山地区は苦渋の選択をしたとありました。その選択を伊賀市が行政的に受け入れました。住民の思いが行政の行うことと乖離してはいけません。地域の方々の思いを真摯に受け止めていきます。



## 9月定例会の開催日程(予定)

9月定例会は、9月6日(木)から9月28日(金)までの23日間の日程で開催の予定です。

開催日	開催日(曜日)	本会議	委員会付託
9月6日	(木)	本会議	開会
9月11日	(火)	本会議	一般質問
9月12日	(水)	本会議	一般質問
9月13日	(木)	本会議	一般質問
9月14日	(金)	本会議	一般質問
9月18日	(火)	決算特別委員会	
9月19日	(水)	決算特別委員会	
9月20日	(木)	予算特別委員会	
9月21日	(金)	常任委員会	
9月25日	(火)	常任委員会	
9月28日	(金)	本会議	委員長報告
			採決
			閉会

- ※ 本会議は市役所2階市議会議場で、開催されます。
- ※ 時間は、いずれも午前10時から開催の予定です。
- ※ 変更される場合がありますので文字放送でお知らせします。ご確認下さい。



お問い合わせ 伊賀市議会事務局

電話 22-9687

# ★ 常任委員会

各常任委員会では、第6回定例会において付託された議案7件、請願1件について審査を行いました。主なものは、次のとおりです。

## 総務

付託 議案五件

### 議案第八十一号

#### 『伊賀市・名張市広域行政事務組合規約の変更に関する協議について』

株式会社伊賀鉄道へ両市が伊賀地区ふるさと市町村圏基金からそれぞれ三千万円を取り崩して支援することにより、出資金に変更が生じることから、名張市との協議の上、組合規約を変更するものです。

なお、三重県知事の認可の日から施行することであり、

審査に当たり、委員からは、年度によって金額が違ふ理由はとの質疑に対し、当局からは、名張市との協議の中で3年間程度支援することとなっており、各年度二千万円ですが、運営が10月1日であるため、今年度は一千万円、2年目、3年目は二千万円ずつ、4年目一千万円の実質4年間で間になっているとの回答でした。また、現在、運営等は非常に安い、学生の利用が多いことから新会社設立後の定期代はどうかとの質疑に対し、当局からは、料金設定をできるだけ負担を抑える方向で国とも検討しているが、現在よりは負担は増えるとのことでした。

審査の結果、全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

## 教育民生

付託 議案一件

### 議案第七十八号

#### 『伊賀市職員の給与に関する条例及び伊賀市立上野総合市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正について』

上野総合市民病院の医師につきましては、三重大学からの派遣により確保を図っていることですが、本年4月1日現在では、医師数が21人であり、救急医療も含めた十分な診療体制を構築するためには、26人程度の医師数が必要で、看護師も若年層の早期退職者が増えてきており、看護体制に支障をきたしているとのこと。改正の内容ですが、「伊賀市職員の給与に関する条例」につきましては、医師の宿日直手当を勤務1回につき2万円を超えない範囲内において規則で定める額から、勤務1回につき3万5千円を超えない範囲内において規則で定める額に増額し、「伊賀市立上野総合市民病院事業の設置等に関する条例」につきましては、医師確保手当を給与月額20パーセントに相当する額から給与月額25パーセントに相当する額に、研究手当を月額6万円から月額10万円にそれぞれ増額することや、看護師等確保手当は、看護師及び准看護師に対し、その経年数に応じて限度額月額5万円、勤続年数10年間で限度として支給する内容の改正を行うものです。

委員からは、医者数を増やす、また看護師の諸手当を増額する根拠についてはとの質問がございました。

当局からは、それぞれ増員を図っているところであるが、7月募集採用に1人の応募もなく、9月まで現在のままで運営していかねばならない現状を踏まえ、医師、看護師の諸手当の体制を整える必要性があるとのこと。よって来年、医師研修制度を受け入れるような病院の体制づくりをして、伊賀市の医療の確立を図りたいとのこと。また、諸手当を上げる根拠につきましては、他市の諸手当を含む給与を思案に入れ、考慮したいとのことでした。そして10年以上の看護師は一定の確保手当が必要であるとの質疑に対し、現在プラスアルファは厳しい状況であるが職場環境の改善を図り、対応したいとのこと。委員からは、地方の声が響くことなくしっかりとやらせてもらいたいとの意見が出されました。

審査の結果、本案は全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

## 産業経済

付託 議案一件

### 請願第二十号

#### 『日豪EPA/FTA交渉に対することについて』

審査に当たりまして、請願者であります食とみどり、水を守る三重県連絡会議の栗野文雄さんから請願に至った経緯などについてご説明いただきました。説明によれば、現在行われております日豪EPAにおいて、重要4品目の小麦、砂糖、乳製品、牛肉に対し関税が撤廃された場合は、日本各地の農業を初め地域経済に大きなダメージを与えるおそれがあり、伊賀市においても、伊賀米や伊賀牛などの生産に打撃がある。食料自給率の低下及び農地の荒廃を招き、自然環境にも影響を及ぼすとのことでした。

審査の過程において、委員からは、請願者団体の組織と活動目的について、二国間交渉が決裂したときの農林水産業以外の産業界や経済界への影響について、今後農業分野を守る新たな施策が必要と思われるが、団体としての考えはどの質疑に対しまして、説明者からは、活動としては労働者、消費者、農民との共通の利益を実現し、社会的・経済的地位の向上を図ることを目的としている。構成組織としては、消費者と言いつつも労働組合の全林野、全水道、全農林が中心に農協労がオブザーバー参加している団体である。交渉決裂による各界に及ぼす影響は十分理解してきているが、当団体としては、主体的に農林水産分野に主眼を置いているので理解していただきたい。今後の農業施策としては、担い手の育成や所得保障を考えていかなければならないとのこと。最後に、伊賀市における影響についての試算はどの問いには、現在、市町村レベルで行っていないとの回答でした。

これらの審査経緯を踏まえ、採決の結果、本請願は全会一致で採択すべきものと決しました。

## 建設水道

付託 議案一件

### 議案第七十九号

#### 『青山ハローモー・フォレストの設置及び管理に関する条例の一部改正について』

青山ハローモー・フォレストは、都市と農村の交流を目的として、ダム周辺整備事業で伊賀市種生地内において整備を進めており、昨年7月から一部施設の供用を開始しておりますが、今回新たにオートキャンプ場、バーベキュー場、遊具広場、駐車場の施設が完成したため、条例の一部を改正し、運営を行うものであります。改正の主眼内容は、これらの施設を加え使用時間、使用料等、管理及び運営に必要な事項を定めるものです。

なお、この条例は平成19年7月1日から施行することであり、委員からは、都市と農村の交流の目的達成のため、具体的にどのような集客の方法を行っているのかとの質疑があり、当局からは、民間活力の導入としての近隣の観光施設等の協力、マスコミへの資料提供を実施していることや、さらに計画しているパークゴルフ場については、公認コースの認定を受けることにより関係団体との交流を図っていきたいとのことでした。

また、施設建築につきましては、一部に地元産の材木を使わず、外国産材が使われており、地産地消、林業振興等の観点から今後事業実施に当たっては十分留意するようにとの意見がありました。

審査の結果、本案は、全会一致で原案どおり可決することに決しました。



## 6月定例会議案等の審議結果

6月定例会での提出案件は、市長提出議案8件、報告15件、議会提出議案2件、請願1件でした。各常任委員会で審査した後本会議で下記のとおり議決しました。

### ■市長提出議案

案 件	審査した委員会	議決結果
議案第75号 平成18年度伊賀南部消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について	総 務	全会一致
議案第76号 伊賀市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の制定について	総 務	全会一致
議案第77号 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	教 育 民 生	全会一致
議案第78号 伊賀市職員の給与に関する条例及び伊賀市立上野総合市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	教 育 民 生	全会一致
議案第79号 青山ハーモニー・フォレストの設置及び管理に関する条例の一部改正について	建 設 水 道	全会一致
議案第80号 権利の放棄について	総 務	全会一致
議案第81号 伊賀市・名張市広域行政事務組合規約の変更に関する協議について	総 務	全会一致
議案第82号 字の区域の変更について	総 務	全会一致

### ■請願

議案第20号 日豪EPA／FTA交渉に対することについて ※ 賛成しなかった議員 渡久山・土井・小丸・本村	産 業 経 済	起立多数
--	---------	------

### ■議会提出議案

発議第4号 伊賀市議会議員政治倫理条例の一部改正について ※ 賛成しなかった議員 恒岡・小丸		起立多数
発議第5号 日豪EPA／FTA交渉に対する意見書（案）の提出 ※ 賛成しなかった議員 渡久山・土井・小丸・本村		起立多数

### 意見書を提出

伊賀市議会では、平成19年6月26日地方自治法第99条の規定により、内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣に意見書を提出しました。

#### 日豪EPA／FTA交渉に対する意見書

本年から開始された日豪EPA（経済連携協定）／FTA（自由貿易協定）交渉では、オーストラリア政府は農産物も含む関税撤廃を強く主張してきています。オーストラリア政府の要求通り、農産物の輸入関税が全面的に撤廃されるようなことになれば、政府の試算でも、肉牛、酪農、小麦、砂糖の主要4分野で約8,000億円もの打撃を受け、関連産業や地域経済への影響を含めると、2兆～3兆円規模となるとされています。

また、食料自給率は30%台に低下するなど日本の農業と食料は壊滅的な打撃を受けることとなり、農林業の多面的機能が失われ、農山村の崩壊、国土の荒廃、環境の悪化を招くこととなります。

さらに、昨年、干ばつによって大減産となったようにオーストラリアの農業生産条件は極めて不安定であり、これに安易に依存することは、世界的な食料不足、危機が心配されているなかで、日本の食料安全保障を危うくする結果を招きかねません。

つきましては、日豪EPA／FTA交渉にあたり、日本農業に多大な影響を与える重要品目を交渉から除外するなど次の対策を強く要望します。

#### 記

1. 日豪EPA／FTA交渉にあたっては、米、小麦、牛肉、乳製品、砂糖などの農林水産物の重要品目を除外するとともに、万一、これが受け入れられない場合は、交渉を中断することを求めます。
2. 農産物貿易交渉は農業・農村の多面的機能の発揮と国内自給による食料安全保障の確保を基本とし、各国の多様な農業が共存できる貿易ルートを確立することを求めます。

### 議員永年勤続表彰及び感謝状を授与

平成19年6月19日に開催された第83回全国市議会議長会定期総会において、2名の議員が永年勤続表彰及び感謝状を授与されました。これは全国市議会議長会表彰規程により表彰されたものです。

議員永年勤続20年表彰	前川 款昭 議員
感謝状	
全国市議会議長会評議員	安本美栄子 議員

## 政務調査費使途基準 支出できる経費

研究研修費	議員が研究会、研修会を開催するために要する経費 議員が他の団体の開催する研究会、研修会に参加するために要する経費
調査旅費	議員が行う調査研究活動のために必要な先進地調査又は現地調査に要する経費
資料作成費	議員が行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	議員が行う調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
広報費	議員の調査研究活動、議会活動及び市の施策について、住民に報告し、周知するために要する経費
広聴費	議員が住民からの市政及び議会等に対する要望、意見を聴取するための会議等に要する経費
人件費	議員が行う調査研究活動を補助する者を雇用する経費
事務費	議員が行う調査研究活動のために必要な事務の遂行に要する経費
その他の経費	上記以外の経費で議員が行う調査研究活動に必要な経費

視察旅費は、伊賀市議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例に基づく取り扱いとし、事前に議長に届け出て、あらかじめ事務局で計算を行う。

# 十八年度支出された 政務調査費を報告します

政務調査費とは、地方自治法第100条第13項及び第14項の規定及び、伊賀市条例に基づき、調査研究に資するために必要な経費の一部として、議会における会派に対して交付されるものです。(19年度からは、個人支給に改定)

会派は、規則で定める使途基準に従い、経理処理を明確に行うため、経理責任者を置き、政務調査費に係る収入及び支出の報告書を作成し、領収書等の証拠書類の写しを添付したうえで議長に提出します。また、一年間の交付された総額から支出した経費の総額を差し引き、残余がある場合は、市に返還をします。



会派名	交付額 (円)	戻入 (円)	所属議員数 (人)	精算額 (円)
新政いが	1,200,000	58,891	5	1,141,109
爽風クラブ	1,920,000	2,562	8	1,917,438
清風クラブ	600,000	3,227	5	596,773
公明党	720,000	0	3	720,000
輝 (かがやき)	1,680,000	311,358	7	1,368,642
日本共産党	240,000	73,299	1	166,701
明政クラブ	1,200,000	0	5	1,200,000
合計	7,560,000	449,337	34	7,110,663